

## 産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 東岡山工業 高等学校
実践場面	企業におけるデュアルシステムの実施
実践日時（時期）	令和5年5月8日（月）～令和6年1月15日（月） 毎週月曜日午後
対象生徒（学年）	電気科2年生
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 進路等のつながりから依頼（（株）岡山村田製作所） ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input checked="" type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他

### 実践の内容

#### 【現状】

- ・工業科では普段から「実習」の授業で体験的な学びを行っているが、学校だけでは学べない、企業の現場での実践的な技術等もある。
- ・生徒は卒業後、製造業に就職する生徒が多く、キャリア教育の観点からも、5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）など、実際の企業現場での取組等を学ぶことは非常に有益である。



#### 【実践内容】

- ・月曜日午後の電気科2年生「実習」の時間に、生徒8名が3週（40名が15週かけて全員参加する）にわたり、（株）岡山村田製作所（瀬戸内市邑久町）を訪問し、実際の企業現場で学習する。
  - 1週目 オリエンテーション、安全教育、5S
  - 2週目 コンピュータ制御の学習
  - 3週目 からくり機構の学習
- ・参加生徒8名と引率の担当教員1名は、該当時間に（株）岡山村田製作所の送迎で企業を訪問する。
- ・生徒は、社員の方から直接技術指導を受け、該当時間の評価については、引率の担当教員が行う。また生徒の報告書は企業と共有している。
- ・コンピュータ制御については、予め基礎的な内容を、学校での実習で学んだ後に、企業で学習できるようカリキュラムを変更した。



### 実践による効果等

- ・生徒が実際の企業現場で、社員の方から直接学ぶことにより、就職後を具体的にイメージすることができ、また、社会人基礎力も身に付けることができる。
- ・教員も、企業の現場を体験することができ、5Sや安全教育など、企業が取り組まれている実際の取組を学ぶことができる。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）